

旧本郷一小跡地（仮称）ほんごうパーク管理運営検討会（第5回）

日 時：2025 年 9 月 26 日（金）18：30～

場 所：コバコ

参加者：9 名

事務局：4 名

1. ほんごうパークフェスの結果について

（1）イベント運営について

- ・ 今回マルシェと同時開催したように、賑わいを生むには複数のイベントを組み合わせで実施することは必須と感じた。
- ・ 地域で連携して実施することを積み重ね、この地域ならではの賑わいづくりを皆さんで作っていくのが良い。
- ・ より多くの人にイベント運営へ関わってもらい、また気軽に参加してもらうためにも、区長会の総会の議題に挙げて協力を求める必要があるのではないか。
- ・ 区の集まりには若い世代も数名参加しているので、そのような場を活用して日頃からコミュニケーションをとっていれば、イベントの手伝い等も関わりやすくなる。
- ・ 水遊びとマルシェの合同開催によって、昨年と比べて実際にどれほどの人数が増えたのか。
→（事務局）去年はカウント方法が異なるため、単純な比較はしづらい。
- ・ 無償でのボランティア依頼のみでは、人が集まりづらいのではないか。
このようなイベントを継続していくには、収入源を確保した上で有償化を検討する必要があるのではないか。

（2）アンケート結果を踏まえた水遊び施設のあり方について

- ・ 常設と仮設の実際の施設の全国の事例をぜひ紹介してほしい。
- ・ 常設の噴水施設は会津若松の運動公園にある。
15 分毎に水が出て、周りにベンチやパーゴラがあり休憩できる。
夏以外は噴水を止めており、あまり人はいない。
猪苗代のじゃぶじゃぶ池も、夏以外は水を入れていない。
冬はあまり人がいないが、施設の傾斜を利用して走って遊んでいる子どもはいる。
- ・ 公園内に水路を入れるアイディアもあったが、どうか。
じゃぶじゃぶ池を作っても、冬場に使われないのであれば、自然の水路で良いのではないか。
→（事務局）当初は公園内に自然の水路を活かしてせせらぎを設けるアイディアもあ

ったが、滅菌やポンプアップのための設備コストと管理コストがかかることから難しいと判断した。

→（事務局）年間を通して利用できる広場のような形で、夏は噴水が出るタイプの施設（整備計画に写真あり）がコスト面からも現実的ではないかと考えている。

- ・ アンケート結果を見ると、水遊びができる設備やイベントはほしいものの、じゃぶじゃぶ池は必ずしも必要ではなく、予算があればあった方が良いが、じゃぶじゃぶ池ありきではないという結果だと思う。

これを HPF の総意として提案しても良いのではないだろうか。

町民にも理解して頂けるのではないかなと思う。

- ・ 今後予算の関係で、この整備イメージ図は変わっていくことが予想される。その中で、優先順位を決める際に、このような実験結果から判断したということにも意味がある。

- ・ 仮設で水遊びをする場合も塩素を入れる必要があるとダスキンの方に教えて頂き、塩素を分けてもらった。管理は簡単ではない。

- ・ 今回の実験は仮設でも楽しめるとの結果だったと思う。

立派な設備の公園作ってもどれだけ人が集まるのか。

子どもたちに借金を背負わせないように、現実的に規模感や予算を見ながら話し合うタイミングに来ているのではないかな。

- ・ 全国の事例から、いかに経費を抑えて整備・管理しているか学べればと思う。
- ・ 指定管理者が運営するにしてもこの施設は町の事業であり、この施設は収益施設ではないことを町が認識しておく必要がある。

その覚悟が見えないと、町民は不安になる。

- ・ それはみなさん認識していると思う。

その上で、今回子育て世代の意見を聞いてみた結果、常設のじゃぶじゃぶ池がなくても公園の魅力が落ちるものではないことが分かったと言えるのではないかな。

町の覚悟だけではなく、検討してきた我々が見解を示すことも必要ではないかな。

- ・ （事務局）整備イメージ図におけるじゃぶじゃぶ池は水遊び施設を総称したもの。コスト面も踏まえどのような施設が良いかを検討するにあたり、水遊びの施設に町民が求めるものは何かを聞くためにアンケート調査を実施した。

- ・ 今後整備や運営を検討する際にコスト面は考慮する必要があり、魅力を損なわず経済的で持続可能な施設を作るべき。

予算を踏まえ取捨選択していく段階に来ている。

- ・ アンケート結果だけでじゃぶじゃぶ池の要不要を判断するのは難しいのではないかな。

これと予算の話と一緒にするのは乱暴。

判断材料を全て出した上で検討するべき。

(3) 計画のスリム化について

- ・ 公園は憩いの場で、過度な設備は不要ではないか。
今後人口が減少すると維持管理の問題も出てくる。
将来を見捨てた計画にできればと思う。
- ・ 子どもを主体に考えれば、水遊びも泥遊びも必要なものだが、現状は盛りだくさんの計画になっており、これまでもスリム化を図る必要があるとの話があったかと思う。
長年積み上げてきた基本コンセプトから外れないようにしながら、計画内容が予算に見合う価値があるかどうかをシビアに見極めていく必要がある。
- ・ アンケート結果を貴重な意見として受け止めながら、我々として方向性を持つておく必要がある。
- ・ 計画で一番重要なのは、盆踊り、マルシェ、せと市など皆が集う場所となる広場だと思う。
その他には本郷では遊具がなくなっているため、大型遊具や日陰の場所が必要だと思うが、計画内容の取捨選択について今後皆さんと揉んでいけたらよい。
- ・ (事務局) 今年度の基本設計において、整備イメージ図をもとに一旦概算費用を算出する。
それを見渡した上で、絶対に必要なもの、費用対効果が高いもの等を整理する。
- ・ (事務局) その上で、実証しながら段階的に整備していくのが良いのではないか。
絶対に必要なもの、優先度が高く安くできるものを先に整備し、それを使いながら、追加で検討していくやり方。
基本計画や実施計画の中でも、長い時間をかけて育てていく、自分たちで作っていくというコンセプトもあったかと思う。
20年後くらいには人口が半減するという試算もあるなか、試行や実証をしながら、段階的に公園を作っていく方が現実的ではないかと考えている。
- ・ (事務局) 概算費用はおそらく莫大なものとなるので、次の段階としてどこをスリム化するか検討する必要がある。
例えば、じゃぶじゃぶ池が優先度として高いのかどうか、皆さんと検討する必要がある。
出てくる。
- ・ 全体を公園にするという考え方は変えない方向か。
面積が縮小すれば費用も削減できる。
公園以外の機能を入れることも考えられるのか。
→ (事務局) 基本設計の段階では、整備計画に則ったもので算定し、その上で次年度以降削っていく必要性を検討する。
整備計画以外の機能を持たせることについては、別途議論が必要となる。
- ・ 時間をかけて、ひとつひとつ合意を得ながら段階的に整備していくのは重要なことだ

と思う。

→（事務局）整備計画の中でも「段階的整備」と書いてあるが、これについても今後現実的にどうなのか検討していく必要がある。

- ・ その検討とはこういったところで検討されるのか。
→（事務局）町の経営戦略会議、町民全体に向けたアンケート調査等。
- ・ 若松や喜多方の施設の模倣を避け、美里独自、本郷地域独自の個性を打ち出す必要があり、それが今後の絞り込みで決まってくると思う。

何にこだわるか。

- ・ 未来の子どもたちに負担をかけてはいけないとの思いが一般町民にはある。
それを受け止めた上で、こういうものにしたいという案を作っていく必要がある。
- ・ （事務局）個別の概算費用を出してみないと、優先度を判断するのは難しいところがある。

特にここ数年で建設コストが1.5倍くらいに値上がりしており、今度その状態は続くか、労働者不足の状況から高くなることが予想される。

- ・ まずは概算費用の算定で、今年度中に急いでスリム化を検討し精査する必要はないと認識している。

→（事務局）町としても、今年度の基本設計の中で概算費用を出さないと見通しが立たない部分がある。

もし莫大な費用がかかるとなれば、着工する時期が遅れるかもしれないし、次年度以降に想定していた実施設計も一旦立ち止まって、計画をスリム化するための時間を取った方が良いとなるかもしれない。

2. 見守り活動の状況と10月の予定について

（1）9月の活動状況の共有

<活動報告①>

- ・ 雨の日が多く、水たまりもあり、子どもが遊べる状態ではなかった。
- ・ 9/18は草が30cmくらいまで伸びていたので、声をかけた子どもがデッキの上で竹馬で遊んだ。普段はゲームしているという。
- ・ 子どもの帰宅時間と見守り活動の時間にずれがあり、子どもが集まりにくい状況があるのではないか。

<活動報告②>

- ・ 自分の子どもが、学童クラブが終わった後16時頃から遊びに来た。たまたま友達を通りがかり、一緒に遊んだ。
- ・ 原っぱで男の子が遊ぶこともあったので、天気がよく、濡れていなければ、それなりに遊びに来るのではないか。

- ・ 竹馬は人気があった。ボールは自分で持っていることが多いので、持っていないものの方が遊びたがる。
- ・ 金曜日は GO 寺の日。たまたま GO 寺がない日に遊びに来ていたので、金曜日は外した方が良いのではないかな。

<活動報告③>

- ・ 雨がひどかったため、子どもが 1 人も集まらなかった。
- ・ こうした活動は重要だと思うが、どうしたら子どもが集まるか検討する必要がある。
- ・ 子どもがイベント開催を認識しやすくするため、黄色い旗を掲げるなどしたら目立つし面白いのではないかな。
- ・ 草地ではなく、ある程度の地面の部分を設けないと、ボール遊びや自転車遊びができない。
- ・ 自分たちの遊び場という認識がないと子どもたちは遊びに来ない。
それはこの公園と自分がどのような関わりがあるかの問題。
例えば、子どもたちが集まって、みんなで何かを作るイベントを実施してはどうか。
自分たちが作り、さらに費用も自分たちで集めたとなれば、愛着がわく。
本郷庁舎の子どもたちが作った陶板は良い事例。
例えば、じゃらんかけを使って椅子を作る等。
- ・ 富山県舟橋村では、子育て支援に力を入れており人口が増えている。
その村の公園づくりは、小学生（3-4 年生）に専門部長等の役割を持たせて、自分たちでほしい公園を提案し、それを造園業会の大人がサポートして実現化している。
そのような取り組みは子どもの思い出になり、ふるさとの良さにもつながる。
- ・ こども園を本郷学園に移転する計画が進んでいるが、その工事で取り除いた芝生を保管しておいて、子どもたちと一緒に跡地に植え直すというイベントを取り込んではどうかな。

（２）今後の予定

- ・ （事務局）見守り日に合わせて、そのようなみんなで作るイベント等ができると良いかもしれない。ちょうど若松の子ども支援の NPO から跡地でイベントをやりたいとの相談が来ている。現時点では 11/8 日（土）を考えているとのこと。
- ・ （事務局）10/14 は GO 寺でほんごう BOX を利用する予定。ミサトベースの芋ほりイベントに合わせて跡地で遊び、お迎え場所もほんごう BOX として、保護者への周知も図る。10 月の見守り日程と合わせられると良い。
- ・ （事務局）このようにイベントと見守りをあわせて、認知度向上、利用促進ができればと考えている。
- ・ 11/7 に昔遊びの会の方に来て頂き、あの場所で駒遊びができないか考えている。
- ・ これから日が短くなり、平日夕方は遊ぶ時間がないので、土日の活動も含めて検討し

てはどうか。

- ・ 見守り日程（詳細省略）はいったん決めて、追加はインスタグラムで告知。
- ・ 学校等へのチラシ配布については後日事務局内で方法を検討する。

3. 管理運営体制について

- ・ 資料は現状を踏まえて方向性をよくまとめていると思う。違和感はない。
- ・ 専門能力や技術のある人、という点に注目した。退職者でもそういった方がいるので、活かしていけたら良い。
- ・ 方向性を確認頂けたので、今後どんどん進化していくということで進めていきたい。
- ・

以上